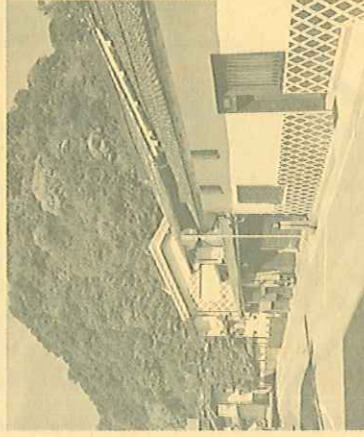


勝山

散策ガイド

町並み保存地区



白壁や格子窓の商家や民家、なまこ壁の土蔵といった伝統的な建造物が並び、城下町のたたずまいを残す古い町並みが、城下町の下で初めて指定された「町並み保存地区」。各家々には80余りの個性豊かな「のれん」が掛かり、町並みを美しく彩る。何をモチーフにしたデザインが推測しながら眺めるのも面白い。(平成21年度都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」(国土交通大臣賞)を受賞)

高田神社

久寿二年(1155)肥州熊野より勧請したもので、熊野大権現と呼ばれ地方民の厚い尊崇を受けた。明治四年神仏分離により旧地名にちなんで高田神社と改められた。本殿は方三間造りで建築様式は江戸初期の神社建築の特徴をよく現している。

化生寺(かせい)と玉雲宮(たまもりぐわ)

高田城主、三浦貞宗公が明徳元年(1390)玄翁禪師を請じて開基した曹洞宗の寺である。後、兵火に罹り焼失し、慶長三年(1598)に再建した。この化生寺の寺域内に有名な「殺生石」にゆかりのある「玉雲宮」をお祀りしてある。

妙円寺

延文五年(1360)大覚大徳正の建立したものであるが、兵火により焼失、延享二年(1745)再建した。

日蓮宗の寺院では珍しい重層の建物で、方三間重層入母屋造り。特に堂宇の欄間の十六羅漢が見事である。

安養寺

勝山城主、三浦家の菩提寺で寺域内に五代より十代までの藩主の墓がある。長承年間(1132~)天台宗観音得業の建立である。のち転宗して浄土宗となる。安永九年、火災により全焼し文化十一年(1814)再建された。

大雲寺

天文十五年(1546)本山證如上人法弟雙羽師の開基したものであるが、元文年間焼失し、同五年(1740)再建する。城内の松(雙翅の松)は推定樹齢三百年のものである。

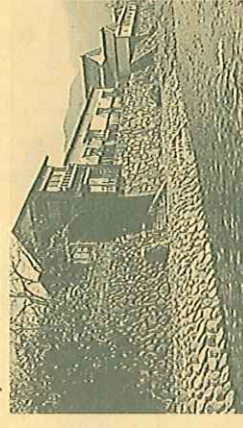
明徳寺

臨済宗大本山永源寺派に所属し、大本山永源寺開祖、寂室円応禪師誕生地記念寺として創建。宝暦元年(1751)城内に建立したが、ち三浦藩築城のため現在地に移す。本尊聖観音は県重要文化財。(郷土資料館に展示)

円応禪師誕生井

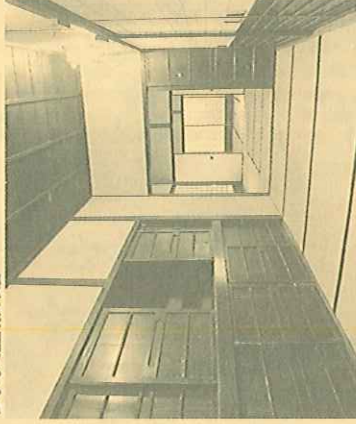
室町時代の高僧、寂室円応禪師は、正応三年(1290)勝山で生を受けた。その時の生湯に使った井戸と伝えられており、現在も湧水の枯れることもなく史蹟として保存されている。

高瀬舟発着場跡



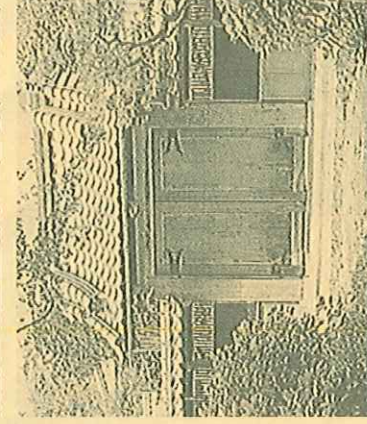
昔、産物の輸送は、すべて川を利用しており勝山より岡山まで地方の産物を積み、勝山への帰りは、塩・日用雑貨品を積んで運んでいた。旭川では勝山が最上流の舟着場で、当時は隆盛をきわめた。町裏から川沿いの石畳が往時を偲ばせる。県下でこれだけ完全に残っているところは他にない。

武家屋敷館



明和元年(1764)三河国西尾より、当地にお国替になった三浦明次は、勝山城を修築し、ここに武家屋敷を作り家臣を住まわせた。この武家屋敷は昔のままの姿を残している唯一の上級武士の家屋で(別名渡辺邸ともいう)、渡辺氏は家老格の名門で百六十石であった。老朽化のため昭和六十一年に修復した際に土蔵を展示館とし武家に関する資料を展示している。

旧勝山城主三浦家の住居(棟の木御殿)



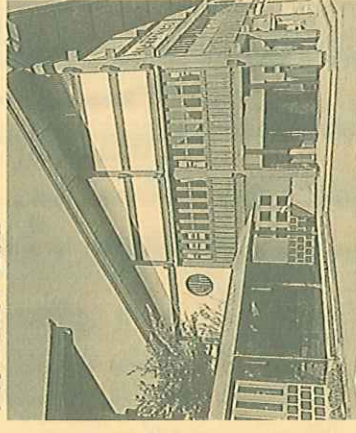
明治二年版籍奉還により、三浦藩主の居所として建てられた。門は当時のまま、移築されたと伝えられる。

郷土資料館

勝山郷土資料館は昭和六十一年に設置されたもので、町並み保存地区の中央に位置している。

館内には、二万三千石の城主三浦家に関する資料、商家に関する資料、民俗資料などの展示室があり、作西の中心、出雲街道の要衝の地として栄えてきた城下町勝山の歴史を知ることができる。また、城下町散策朝光の案内所としても利用されている。

木材ふれあい会館

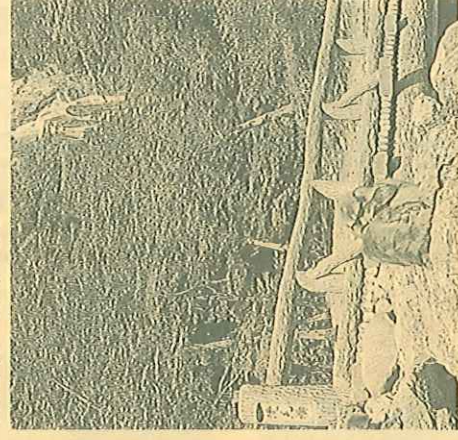


この会館は国産材の需要の増大と安定した供給を図るため直接木材にふれあって木材の良さを知っていただく目的で昭和六十二年三月に総工費一億七千万円で建設されたもの。館内には木材製品の展示室、P.Rコーナー、木材加工のできるDIYコーナー、研修室、販売コーナー、相談室があり、展示室には木造家屋に使用する材料や銘木、珍木が展示されている木の博物館。

勝山文化往来館ひしお

明治時代中期のしょうゆ蔵を、町並み保存地区を象徴する文化施設として平成17年に改修整備。ホール、中庭、ギャラリー、カフェがあり、勝山の文化発信基地となっている。展望スペースからは、美しい町並みが一望できる。

神庭(かんば)の滝



中国地方随一、日本の滝百選にも選ばれているこの滝は落差110m、幅20mというスケールの大さを誇る。一帯には約160匹の野鯉が棲み、訪れる人に愛嬌をふりまいている。

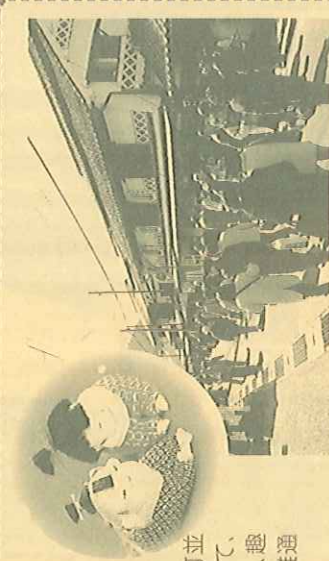
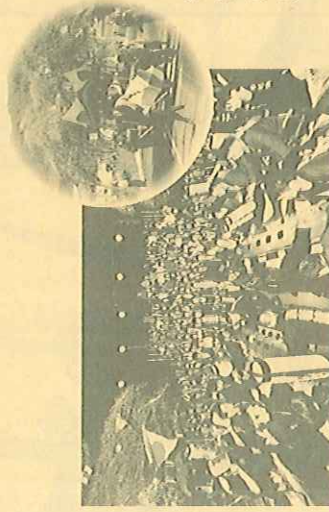
イベント案内

勝山喧嘩だんじり

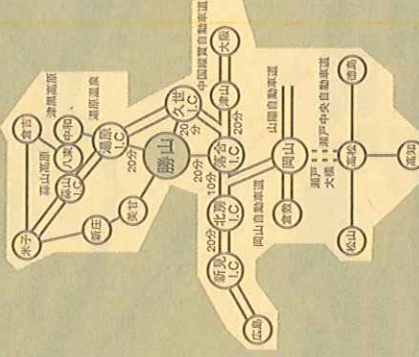
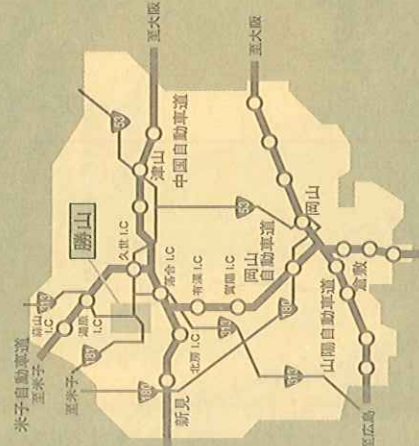
毎年10月19日、20日に行われる勝山喧嘩だんじり。夜になると9台の喧嘩だんじりが激しくぶつかり合い、熱い盛りを堪能できる。県下でこれだけ完全に残っているところは他にない。

勝山のお雛まつり

3月3日前後を中心とした5日間、町並み保存地区から新町商店街にかけて、およそ160軒の民家・商家の軒先に、趣向を凝らしたお雛様が飾られ、お雛遊りを形成します。



勝山へのアクセス



ご宿泊案内

- 原田旅館 44-2323 26人収容
- 民宿小山 44-3981 20人収容
- 民宿船津 44-3097 30人収容
- サノリストゴルフクラブ 44-5500 30人収容
- 勝山美しい森 44-2927 (バンガロー、キャンプ場)

観光ガイドのご利用について

原則として10名様以上の団体には散策のご案内をする観光ガイドがご利用になれます。予約が必要ですので、勝山観光協会へお申し込みください。(料金……3,000円)